

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 江田 治雄（市民の会・絆） 1 秩父市観光大使 2 教育施設（グラウンド）の貸し出し 3 選挙立会人選任とポスター掲示場所	⑥ 竹内 勝利（清流クラブ） 1 市役所、市民会館の今後 2 火災の通知内容 3 有害鳥獣捕獲後の処理施設 4 家族で利用できる更衣室	⑪ 荒船 功（清流クラブ） 1 太陽光発電施設設置 2 し尿処理事業の広域化 3 生活保護世帯支援事業 4 姉妹都市交流事業
② 福井 貴代（公明党） 1 生涯活躍のまち（秩父版CCRC） 2 訪問診療の普及策 3 投票率向上対策	⑦ 笠原 宏平（清流クラブ） 1 災害時の障がい者支援 2 介護保険制度 3 ファシリティマネジメントの現状	⑫ 赤岩 秀文（清流クラブ） 1 市と神社仏閣との関わり 2 政教分離に対する市の立ち位置 3 観光資源としての神社仏閣の関わり方 4 伝統文化継承としての祭のあり方
③ 浅海 忠（市民の会・絆） 1 地籍調査と未登記道路の現状と今後は 2 自転車の街づくりの今後と安全対策は 3 賑わいの街づくり、秩父神社と番場通り 4 地域資源を活用した高校大学企業連携は	⑧ 大久保 進（公明党） 1 合宿補助金 2 被災者支援システム 3 ゆるキャラグランプリ	⑬ 清野 和彦 1 移住・定住促進 2 西武秩父駅・御花畑駅周辺の環境整備 3 秩父夜祭宵宮のにぎわいづくり 4 武甲山
④ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団） 1 災害時の喫緊課題であるトイレ問題 2 障がい者差別解消法の合理的配慮 3 CCRCでの保育士・介護従事者育成支援 4 田村地域土砂たい積問題	⑨ 木村 隆彦（清流クラブ） 1 自治会が設置している街路灯 2 商店街の街路灯 3 発達障がい児の支援 4 CCRC（生涯活躍のまちづくり）構想	⑭ 黒澤 秀之（清流クラブ） 1 森林の利活用、林業振興 2 「共助」による地域防災力の強化 3 民泊事業における登録民家増加策
⑤ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団） 1 市長の政治姿勢 2 地籍調査における今後の方向性 3 地域活性化 4 障がい児（者）にやさしいまちづくり	⑩ 金崎 昌之 1 合併検証なくしてまちづくりなし 2 「秩父市の教育」その課題と対策 3 ユニバーサルデザインのまちへ	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

秩父市観光大使について



市民の会・絆 江田 治雄
えだ はるお

●投票立会人の選任方法と
掲示板

問 投票立会人は毎回同じ方々が採用されているが、どの様に選んでいるのか。またポスター掲示板の位置変更はできないか。

答 立会人の選任は、投票区毎に選任して選挙管理委員会に委嘱している。公平を期するために、今後は公募も検討する。ポスター掲示板の設置場所は、地域の状況を見て有効的な場所に見直すことも可能で、今後検討したい。

●教育施設（グラウンド、
体育館）を開放した地域
振興について

問 夏休みの期間限定で、小・中学校のグラウンドや体育館が空いている時に、民宿等に貸し出しできないか。

答 教育施設のグラウンドや体育館は法の規制があり、管理上の問題や、営利目的では貸し出しができない現状である。今後秩父地域全体のテーマと捉え、施設の有効利用の観点で前向きに検討する。



選挙時のポスター掲示板

一般質問

生涯活躍のまち構想 (秩父版CCRC)

公明党 福井 貴代
ふくい たかよ



問 この事業の正式名称・目的は。
答 本題は「秩父市生涯活躍のまちづくり構想」副題を「秩父版CCRC構想」とし、新しい人の流れを作る人口増加策の手段の一つ。事業効果として、人口増加・消費拡大・税収増・雇用創出・健康増進・社会保障費の削減など、多様な世代の活発な移住交流による地域活性化を期待し、消滅可能性都市からの脱却を図る。この構想を、本格的な「総合的移住政策の一つ」として積極的に推進していく。

問 事業推進のために専門窓口を早期に設置し、移住者支援メニューの創設が必要では。
答 移住担当部所を来年度から設置したい。

●訪問診療の普及策

問 在宅医療を望んだとき、どのようなケアが受けられるか。在宅死の割合や、訪問診療医は何人か。
答 27年2月より「ちちぶ版地域包括ケアシステム」の構築を推進。秩父圏域内で保健・医療・介護・福祉の一体的なサービス提供体制を整えている。在宅医療を望む方には入院中に病院のソーシャル

ワーカーからの発信でケアマネージャーを中心に在宅医療・介護の連携で患者・家族を支える体制が構築されている。在宅医療を支えるため「在宅療養支援ベッドの確保事業」も開始。26年の秩父市の「自宅」での死亡は77名で9・14%。訪問診療を可能としている医師は現在、20名となっている。



秩父版CCRC構想(素案)とちちぶ在宅医療介護連携相談室

◎投票率向上対策

地籍調査と未登記道路の現状と今後は

市民の会・絆 浅海 忠
あつみ ただし



問 地籍調査の現状と今後の取り組みは。また、平地での実施と、財政措置の状況は。

答 大滝地区は、旧大滝村時代の14年から実施計画224・24kmで事業を開始した。27年度末までに6地区、面積6・26kmを完了し、進捗率は2・79%となっている。財政措置については国が50%、県と市が25%ずつ負担する。さらに、市が負担する25%の経費の80%は特別交付税の対象となることから、実質5%の負担で実施することが可能となる。しかし、理論上は参入されても、各年度に交付される特別交付税の総額は国の交付税予算の減額や大きな災害が発生した場合が大きく削減される可能性がある。慎重に判断したい。

地籍調査を他の地区まで拡大することは、予算を伴う長期の新規事業は現状の予算枠である土木費の中で何か他の工事・修繕等を縮小して工面しなくてはならない。地籍調査の重要性は承知しているが大滝地区以外では今のところ実施する予定はない。

問 未登記道路の現状と今後の取り組みは。

答 市道内民地で分筆が済んでいるものは、概ね千筆であり、道路管理システムで管理している。未分筆のものについては把握できていない状況であり、境界確認や道路相談などをきっかけに地権者と交渉を進め年間数十件の寄付による整理を行っている。



秩父神社の参拝道、番場通り

◎自転車の街づくりにおける「緑風と走ろう癒しの里ちちぶ」の取り組みと成果は
◎西武秩父駅から御花畑駅・秩父神社と番場通りの賑わいの街づくり

一般質問

災害時、喫緊課題の
トイレ問題

日本共産党秩父市議会議員団

出浦 章恵
いづみ あきえ

問 災害時避難所トイレの臭い・感染・衛生対策の計画は。

答 災害時のトイレの課題は、多くの健康被害と衛生環境の悪化をもたらすことから、助け合いながら劣悪な環境にしないことが重要。学校等の避難所に段ボールの簡易トイレを約340個、また凝固剤を入れるタイプの臭い対策の処理袋を約2100セット備蓄している。その他、リース業者等に汲み取り式の仮設トイレを各避難所へ可能な限り早く配備するよう依頼する。トイレ使用後には、ウエットティッシュ・消臭スプレーを使うことにより衛生対策を行う。

一方、避難されない方で自宅のトイレが使えない場合の対策は、ビニール袋を利用する方法、また汲み取り式の公衆トイレや消防団詰所などのトイレを利用してもらう方法を考えている。

今後はトイレ用品の備蓄も含め、災害時のトイレの使い方等の啓発を行い、その後の処理方法等はし尿処理施設や秩父広域市町村圏組合と具体的な協議をしていく。

問 女性・障がい者への配慮は。

答 足腰の弱い高齢者や車いす使

用の身体障がい者、女性や子ども等に使いやすいよう配慮する。プライベート対策として、簡易テントをトイレや着替え、授乳等に利用できる。また、車いすでも利用できるテントもあり、医師等による診察や相談事業等を行うこともできる。

問 避難所運営に女性の意見を取り入れる考えは。

答 男女共同参画の視点から様々な意見が反映されるよう、年齢や性別等にも配慮していく。



災害時の簡易トイレ

地域の願いを反映する
市政に

日本共産党秩父市議会議員団

山田 進
やまなかすすむ

●地籍調査

問 以前の答弁では考えていないとしているが、国土交通省も推奨している事業を放棄してしまうのか。むしろ市の総合振興計画に位置付け実施する事業として進められるべきと考える。自己財源5%で95%の補助で実施できる有利な制度である。地域経済の活性化や新しい雇用を生む事業としても新たなスタートとして取り組む考えはないか。

答 この事業を進めることにより他の事業が縮小される。実施する考えはない。

●番場通りの整備と三峰駐車場整備および周辺活用

問 商店街は、電線地中化について市に要望している。インターロッキングにしたこの通りを電線地中化し、観光客や祭りの際、美観や景観を生かすために必要と思うが、商店街の要望を満たす計画があるか考えは。

答 電線地中化は観光や防災面で有効だが、地上機器の設置など幅員が狭くなる。また、財源確保など研究検討していきたい。



10月1日の三峰駐車場の様子

●障がい者（児）にやさしいまちづくり

問 障がい者（児）各施設の安全確保は。

答 相模原市の事件を教訓に、市として各施設と連携し、対応していく。

問 三峰駐車場整備および周辺活用について

答 駐車場整備のための調査費として予算を計上した。

一般質問

有害鳥獣捕獲後の 処理施設について

問 捕獲後のイノシシ、シカ肉の有効活用施設や焼却処分場の建設。

答 食肉処理場等の営業許可と人員、処理後の流通経路の開拓、建設用地の確保、および相当の建設費が必要であるため、すぐに建設する事は難しい。焼却処分施設も同様のため、処理施設として新火葬場の動物炉を活用してほしい。

問 新火葬場の動物炉手続き方法。

答 29年4月1日から動物炉の利用を開始する予定だが、具体的な利用手続き等については現在検討中であり、今後、運用について協議する。

問 動物炉が遠いため、一時保管冷蔵庫の支所への配備や、運搬費用の負担についての考えは。

答 捕獲した鳥獣の一時保管用大型冷蔵庫の各支所への配備や運搬費用については、具体的な受け入れ方法等の詳細が決まっていないため、今後、検討していく。

問 土日祝の動物炉の焼却対応は。

答 現時点では決まっていない。

火災の通知内容

問 「ちちぶ安心・安全メール」の通知内容がわかりづらいのでは。



清流クラブ 竹内 たけうち かつとし 勝利

答 安心・安全メールは、消防本部がシステムにより火災指令と同時に配信している。火元個人宅が特定されるような個人情報配信はできない。

家族で利用できる更衣室

問 ミュースパイクプールに家族用更衣室の設置は。

答 既存設備や防犯などの問題もあるため、施設の指定管理者と協議しながら、来場者の安心・安全と利便性向上について研究していきたい。



有害鳥獣処理施設の動物炉（福井県若狭町）

災害時の障がい者 支援体制について

●「聴覚障がい者等災害時援助用バンダナ」

問 外見から判断しづらい障がい者に対して、緊急時や災害時に効果的な支援体制は。

答 27年度、聴覚障がい者の方には「聴覚障がい者等災害時援助用バンダナ」を作成し、周囲に周知できるようにした。障がいにはいろいろな障がいがあるため、外見から判断しづらい方が、有事の際身に着けることで効果的な支援に繋がられるよう協議し、導入について検討する。

介護保険制度

問 65歳以上の介護保険料は。

答 被保険者数、要介護認定者数、介護サービス利用状況、施設の整備等により保険料は上がる方向になる。

問 第2号被保険者から第1号被保険者に移行するタイミングと保険料は。

答 65歳の誕生月の翌月に通知書を発行。4月から6月の誕生月の方は7月に通知書の発行となる。

問 元気な高齢者を増やす取り組みは。



清流クラブ 笠原 宏平

答 保健センターと地域包括支援センターが推進している「ちちぶお茶のみ体操」を推進している。

問 ちちぶ版CRC構想における影響。

答 当市の現在の要介護認定率は17・7%なので大きな影響はない。

ファシリティマネジメン トの現状と方針

問 取り組み状況は。

答 未利用で老朽化した野坂貸付住宅・野坂二瀬住宅の解体を始めている。



聴覚障がい者等災害時援助用バンダナ